

アンインストールガイド

ZENworks® 11 サポートパック 4

2015 年 7 月

Novell.



保証と著作権

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、この文書の内容または使用について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また文書の商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本書の内容を改訂または変更する権利を常に留保します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、このような改訂または変更を個人または事業体に通知する義務を負いません。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。またノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本契約の下で提供される製品または技術情報はすべて、米国の輸出管理規定およびその他の国の輸出関連法規の制限を受けます。お客様は、すべての輸出規制を遵守し、製品の輸出、再輸出、または輸入に必要なすべての許可または等級を取得するものとします。お客様は、現在の米国の輸出除外リストに掲載されている企業、および米国の輸出管理規定で指定された輸出禁止国またはテロリスト国に本製品を輸出または再輸出しないものとします。お客様は、取引対象製品を、禁止されている核兵器、ミサイル、または生物化学兵器を最終目的として使用しないものとします。ノベル製ソフトウェアの輸出に関する詳細については、[Novell International Trade Services の Web ページ \(http://www.novell.com/info/exports/\)](http://www.novell.com/info/exports/) を参照してください。弊社は、お客様が必要な輸出承認を取得しなかったことに対し如何なる責任も負わないものとします。

Copyright © 2007-2015 Novell, Inc. All rights reserved. 本書のいかなる部分も、出版社の書面による許可なく、複製、写真複写、検索システムへの登録、転送を行ってはなりません。

Novell, Inc.
1800 South Novell Place
Provo, UT 84606
U.S.A.
www.novell.com

オンラインマニュアル: 本製品とその他の Novell 製品の最新のオンラインマニュアルにアクセスするには、[Novell マニュアルの Web ページ \(http://www.novell.com/documentation\)](http://www.novell.com/documentation) を参照してください。

Novell の商標

Novell の商標一覧については、「[商標とサービスの一覧 \(http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html\)](http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html)」を参照してください。

サードパーティ資料

サードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。

目次

このガイドについて	5
1 ZENworks の正しいアンインストール順序	7
2 Windows デバイスからの ZENworks ソフトウェアのアンインストール	9
2.1 Windows プライマリサーバからの ZENworks のアンインストール	9
2.1.1 Windows からの ZENworks プライマリサーバの無人アンインストール	12
2.2 Windows 管理対象デバイスからの ZENworks のアンインストール	14
2.3 Windows サテライトサーバからの ZENworks のアンインストール	18
2.3.1 サテライトサーバの降格	18
2.3.2 ZENworks Adaptive Agent のアンインストール	20
3 Linux デバイスからの ZENworks ソフトウェアのアンインストール	25
3.1 Linux プライマリサーバからの ZENworks のアンインストール	25
3.2 Linux 管理対象デバイスからの ZENworks のアンインストール	27
3.3 Linux サテライトサーバからの ZENworks のアンインストール	29
3.3.1 サテライトサーバの降格	29
3.3.2 ZENworks Adaptive Agent のアンインストール	31
4 Macintosh デバイスからの ZENworks ソフトウェアのアンインストール	33
4.1 Macintosh 管理対象デバイスからの ZENworks のアンインストール	33
4.2 Macintosh サテライトサーバからの ZENworks のアンインストール	34
4.2.1 サテライトサーバの降格	34
4.2.2 ZENworks Adaptive Agent のアンインストール	34

このガイドについて

この『ZENworks 11 SP4 アンインストールガイド』には、Novell ZENworks 11 SP4 ソフトウェアを ZENworks プライマリサーバ、サテライト、および管理対象デバイスから正常に削除するために役立つ情報が記載されています。

このガイドの情報は、次のように構成されます。

- ◆ 7 ページの第 1 章「ZENworks の正しいアンインストール順序」
- ◆ 9 ページの第 2 章「Windows デバイスからの ZENworks ソフトウェアのアンインストール」
- ◆ 25 ページの第 3 章「Linux デバイスからの ZENworks ソフトウェアのアンインストール」
- ◆ 33 ページの第 4 章「Macintosh デバイスからの ZENworks ソフトウェアのアンインストール」

対象読者

このガイドは、ZENworks 管理者を対象としています。

フィードバック

本マニュアルおよびこの製品に含まれているその他のマニュアルについて、皆様のご意見やご要望をお寄せください。オンラインヘルプの各ページの下部にあるユーザコメント機能を使用してください。

その他のマニュアル

ZENworks 11 SP4 には、製品の概要とその実装方法を説明したその他のマニュアル (PDF 形式および HTML 形式) が用意されています。追加のマニュアルについては、[ZENworks 11 SP4 マニュアル Web サイト \(http://www.novell.com/documentation/zenworks114\)](http://www.novell.com/documentation/zenworks114) を参照してください。

1 ZENworks の正しいアンインストール順序

ご使用の環境から ZENworks を完全に削除する場合、次の推奨順序に従います。

1. すべての管理対象デバイスから ZENworks Adaptive Agent をアンインストールします。
2. すべてのサテライトサーバを管理対象デバイスに降格し、それらのデバイスから ZENworks Adaptive Agent をアンインストールします。
3. 最初のプライマリサーバを除くすべてのプライマリサーバから、ZENworks プライマリサーバおよび Adaptive Agent ソフトウェアをアンインストールします。

システムにインストールされている最初の ZENworks プライマリサーバは、他のすべてのプライマリサーバの後にのみ削除してください。組み込み ZENworks データベースを使用している場合、データベースは最初のプライマリサーバ上にあり、サーバのアンインストール時に削除されます。外部データベースを使用している場合、最初のプライマリサーバには管理ゾーンのサーバ証明書が格納されています。そのサーバを削除すると、他のすべてのプライマリサーバと ZENworks データベースとの接続が切断されます。

最初のプライマリサーバの前にすべてのプライマリサーバをアンインストールしないと、最初のプライマリサーバを削除したときに、これらのプライマリサーバは孤立し、アンインストールできなくなります。その場合、プライマリサーバソフトウェアを削除するには、サーバのイメージを再作成する必要があります。

4. 最初のプライマリサーバをアンインストールします。

2 WindowsデバイスからのZENworksソフトウェアのアンインストール

次の各セクションでは、Windows デバイスから ZENworks ソフトウェアをアンインストールする方法について説明します。ご使用の環境から ZENworks を完全に削除する場合、デバイスからの ZENworks ソフトウェアのアンインストールを開始する前に、必ず 7 ページの第 1 章「ZENworks の正しいアンインストール順序」を確認してください。

- 9 ページのセクション 2.1「Windows プライマリサーバからの ZENworks のアンインストール」
- 14 ページのセクション 2.2「Windows 管理対象デバイスからの ZENworks のアンインストール」
- 18 ページのセクション 2.3「Windows サテライトサーバからの ZENworks のアンインストール」

2.1 Windows プライマリサーバからの ZENworks のアンインストール

ZENworks プライマリサーバをアンインストールする場合、次の点に注意してください。

- ZENworks プライマリサーバには、ZENworks プライマリサーバソフトウェアと ZENworks Adaptive Agent ソフトウェアの両方がインストールされています。Adaptive Agent のアンインストールパスワードが必要な場合 (ZENworks Adaptive Agent のアンインストールパスワードが必要でオプシオンが有効な場合)、パスワードを知っていて、それをアンインストールプロセス中に入力する必要があります。

Adaptive Agent のアンインストールパスワードは、ZENworks コントロールセンターで、ゾーンレベル (環境設定 > 管理ゾーンの設定 > デバイス管理 > ZENworks エージェント > エージェントセキュリティ)、フォルダレベル (デバイス > 管理対象 > フォルダ詳細 > 設定 > デバイス管理 > ZENworks エージェント > エージェントセキュリティ)、またはデバイスレベル (デバイス > デバイス > 設定 > デバイス管理 > ZENworks エージェント > エージェントセキュリティ) で設定されています。

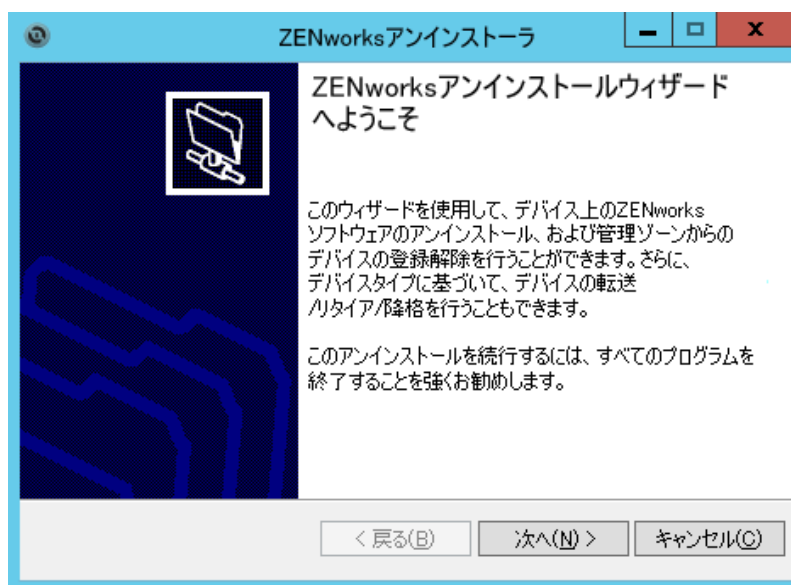
- システムにインストールされている最初の ZENworks プライマリサーバは、他のすべてのプライマリサーバの後にのみ削除してください。組み込み ZENworks データベースを使用している場合、データベースは最初のプライマリサーバ上にあり、サーバのアンインストール時に削除されます。外部データベースを使用している場合、最初のプライマリサーバには管理ゾーンのサーバ証明書が格納されています。そのサーバを削除すると、他のすべてのプライマリサーバと ZENworks データベースとの接続が切断されます。

Windows プライマリサーバから ZENworks をアンインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 コマンドプロンプトで次のコマンドを実行して、ZENworks アンインストールプログラムを起動します。

```
zenworks_installation_directory\novell\zenworks\bin\ZENworksUninstall.exe
```

アンインストールオプションのリストを表示するには、ZENworksUninstall.exe --help を実行します。



- 2 次へをクリックし、プロンプトに従って ZENworks ソフトウェアをアンインストールします。アンインストールオプションについて不明な点がある場合は、次の表の情報を参照してください。

画面	説明
管理者情報	<p>アンインストールプロセス中にデバイスを ZENworks 管理ゾーンから登録解除するため、次の情報を指定する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ プライマリサーバ: ZENworks プライマリサーバをアンインストールする場合、このアドレスはデフォルトでサーバの localhost アドレスおよびポートに設定されています。プライマリサーバが標準のポートを使用していない場合は、アドレスを編集して正しいポート番号を含めます。 ◆ ユーザ名: デバイスを登録解除する権利を持つ ZENworks 管理者アカウントのユーザ名を指定します。デフォルトでは、Administrator アカウントが指定されています。 ◆ パスワード: ユーザ名フィールドで指定されている ZENworks 管理者のパスワードを指定します。 <p>ローカルアンインストールのみ (ゾーン内のデバイスを保持): このオプションは、デバイスから ZENworks ソフトウェアをアンインストールしたい場合のみ選択します。デバイスは引き続き管理ゾーンに登録されています。</p> <p>ローカルアンインストールは、ユーザによるアンインストールがデバイスで許可されている場合のみ実行できます。(ユーザに ZENworks Adaptive Agent のアンインストールを許可オプションが有効な場合)。</p> <p>Adaptive Agent のユーザによるアンインストールオプションは、ZENworks コントロールセンターで、ゾーンレベル (環境設定 > 管理ゾーンの設定 > デバイス管理 > ZENworks エージェント > エージェントセキュリティ)、フォルダレベル (デバイス > 管理対象 > フォルダ詳細 > 設定 > デバイス管理 > ZENworks エージェント > エージェントセキュリティ)、またはデバイスレベル (デバイス > デバイス > 設定 > デバイス管理 > ZENworks エージェント > エージェントセキュリティ) で設定されています。</p>

画面	説明
Actions (アクション)	<p>この画面は、ZENworks ソフトウェアのアンインストール時にデバイスを登録解除するために管理ゾーンにログインした場合にのみ表示されます。</p> <p>利用可能なオプションは、ZENworks サーバをアンインストールしてデバイスをゾーンから登録解除するオプションのみです。次へをクリックして操作を確認します。</p>
保持するコンポーネント	<p>次のコンポーネントのうち、アンインストールしないものを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ZENworks プレエージェント：ZENworks プレエージェントはデバイスにインストールしたままにしますが、その他の ZENworks コンポーネントはすべて削除します。デフォルトでは、このオプションは選択されません。 <p>ZENworks プレエージェントをデバイスに残すと、ZENworks プレエージェントはアダプタイズされた検出要求に応答し、デバイスに対して IP ベースの検出が実行された場合に ZENworks Ping 要求に応答できません。</p> <p>ZENworks をデバイスからアンインストールしてから ZENworks プレエージェントをデバイスから削除するには、『「ZENworks 11 SP4 Adaptive Agent Reference」』の <i>Removing the ZENworks Pre-Agent from a Device</i> を参照してください。</p> ◆ CASA：Novell CASA (Common Authentication Services Adaptor) ソフトウェアをインストールしたまま残します。デフォルトでは、CASA はその他のソフトウェアプログラムで使用される可能性があるためにこのオプションが選択されています。 ◆ ZENworks Imaging ファイル：イメージファイル (novell\zenworks\work\content-repo\images ディレクトリにある) をサーバに残します。このオプションはデフォルトで選択されています。 ◆ ZENworks コンテンツファイル：アプリケーションファイル、パッチファイル、ポリシーファイル、システム更新ファイルなどのコンテンツファイル (novell\zenworks\work\content-repo\content ディレクトリにある) をサーバに残します。このオプションはデフォルトで選択されています。
3	<p>ZENworks Adaptive Agent のアンインストールでパスワードが必要な場合、プロンプトが表示されたらパスワードを入力します。</p> <p>プロンプトが表示されてから 5 分以内にパスワードを入力する必要があります。入力しないと、処理がタイムアウトになり、アンインストールのやり直しが必要になります。</p>
4	<p>アンインストールが完了すると、[アンインストールのステータス] ダイアログボックスが表示されます。ステータスに関するコメントをよく読み、今すぐ再起動オプションが選択されていることを確認して、完了をクリックします。</p> <p>必要に応じて、今すぐ再起動オプションを選択解除し、後でサーバを再起動して、削除できなかったファイルとフォルダのアンインストールを完了できます。</p>
5	<p>サーバが再起動したら、次のタスクを実行して、ZENworks が完全に削除されたことを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ZENworks ログファイル：ログファイルはレビュー用に故意に残されています。いつでも手動で <code>ZENworks_installation_path\Novell\ZENworks</code> ディレクトリを削除できます。 ◆ [ZENworks コントロールセンター] アイコン：[ZENworks コントロールセンター] アイコンがデスクトップに残っているときは、手動で削除できます。

- ◆ **ZENworks Imaging ファイル**: アンインストール時にイメージファイルを保持しておいたものの、後で削除または移動したくなった場合、ファイルは `novell\zenworks\work\content-repo\images` ディレクトリにあります。
- ◆ **ZENworks コンテンツファイル**: アンインストール時にコンテンツファイルを保持しておいたものの、後で削除または移動したくなった場合、ファイルは `novell\zenworks\work\content-repo\content` ディレクトリにあります。
- ◆ **CASA**: アンインストール時に CASA を保持したものの、後で削除したくなった場合は、Windows の [プログラムの追加と削除] から削除できます。CASA のアンインストールを選択した後も `c:\program files\novell\casa` ディレクトリが存在する場合は、手動で削除できます。

2.1.1 Windows からの ZENworks プライマリサーバの無人インストール

無人 (サイレント) による方法を使用して Windows プライマリサーバから ZENworks をアンインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 コマンドプロンプトで次のコマンドを実行します。

```
zenworks_installation_directory\novell\zenworks\bin\ZENworksUninstall.exe <remove_options>
[zone_options] [display_options] [other_options]
```

重要: ZENworks プライマリサーバの無人インストールを実行するには、`display_option -q` を使用してください。

表 2-1 削除オプション

オプション	説明
-x --削除	ZENworks ソフトウェアをサーバからアンインストールして、ゾーンからデバイスを登録解除します。このオプションまたは -c オプションを必ず使用する必要があります。
-c --local-only	ZENworks ソフトウェアをデバイスからアンインストールしますが、ゾーンからデバイスを登録解除しません。このオプションまたは -x オプションのいずれかが必要です。
	ZENworks プライマリサーバには、ZENworks サーバソフトウェアと ZENworks Adaptive Agent ソフトウェアの両方がインストールされています。Adaptive Agent ソフトウェアのローカルアンインストールを実行するには、ZENworks コントロールセンターでサーバに対してユーザに <i>ZENworks Adaptive Agent</i> のアンインストールを許可オプションを有効にする必要があります。有効にしない場合、ローカルアンインストールに失敗します。
	このオプションは、ゾーンレベル (環境設定 > 管理ゾーンの設定 > デバイス管理 > ZENworks エージェント > エージェントセキュリティ)、フォルダレベル (デバイス > 管理対象 > フォルダ詳細 > 設定 > デバイス管理 > ZENworks エージェント > エージェントセキュリティ)、またはデバイスレベル (デバイス > デバイス > 設定 > デバイス管理 > ZENworks エージェント > エージェントセキュリティ) で設定されています。

オプション	説明
-s	プライマリサーバの IP アドレスまたは DNS、およびサーバが実行されているポート番号を指定します。プライマリサーバがデフォルトポート (80) で実行されている場合、このオプションを使用する必要はありません。
-o	ZENworks プレエージェントを保持しますが、ZENworks Adaptive Agent パッケージをアンインストールします。
--oem	
-i	ZENworks イメージファイルをサーバから削除します。イメージファイルは、/var/opt/novell/zenworks/content-repo/images ディレクトリに保存されています。
--delete-images	
-j	ZENworks コンテンツファイル (アプリケーションファイル、パッチファイル、システム更新ファイル、ポリシーファイルなど) をサーバから削除します。コンテンツファイルは、/var/opt/novell/zenworks/content-repo/content ディレクトリに保存されています。
--delete-content	

表 2-2 ゾーンオプション

オプション	説明
-u <username>	管理ゾーン内のデバイスを登録解除する権利を持つ ZENworks 管理者のユーザ名を指定します。これは、-x 削除オプションを使用する場合のみ必要です。
--user <username>	
-p <password>	-u オプションで指定した ZENworks 管理者のパスワードを指定します。
--password <password>	
-z <zonename>	デバイスの現在のゾーンの名前。
--zone <zonename>	
-g <guid>	デバイスの GUID。
--guid <guid>	
-l <packages>	アンインストールするパッケージの順序指定リスト。このリストはセミコロン区切りです。
--list <packages>	

表 2-3 表示オプション

オプション	説明
-q	サイレントインストールを実行します。
--quiet	
-h	メッセージを表示し、ヘルプを終了します。
--help	

表 2-4 その他のオプション

オプション	説明
-L	サードパーティ製パッケージを保持します。少なくとも、保持するパッケージの最初の 3 文字を指定する必要があります。複数のパッケージ名をそれぞれカンマ (,) で区切って指定することもできます。
--leave-packages	
-d	ログディレクトリを削除します。
--remove-log-dir	

2.2 Windows 管理対象デバイスからの ZENworks のアンインストール

管理対象デバイスから ZENworks Adaptive Agent をアンインストールする場合、次の点に注意してください。

- アンインストールパスワードが必要な場合 (ZENworks Adaptive Agent のアンインストールパスワードが必要でオプションが有効な場合)、そのパスワードを知っていて、それをアンインストールプロセス中に入力する必要があります。

Adaptive Agent のアンインストールパスワードは、ZENworks コントロールセンターで、ゾーンレベル (環境設定 > 管理ゾーンの設定 > デバイス管理 > ZENworks エージェント > エージェントセキュリティ)、フォルダレベル (デバイス > 管理対象 > フォルダ詳細 > 設定 > デバイス管理 > ZENworks エージェント > エージェントセキュリティ)、またはデバイスレベル (デバイス > デバイス > 設定 > デバイス管理 > ZENworks エージェント > エージェントセキュリティ) で設定されています。

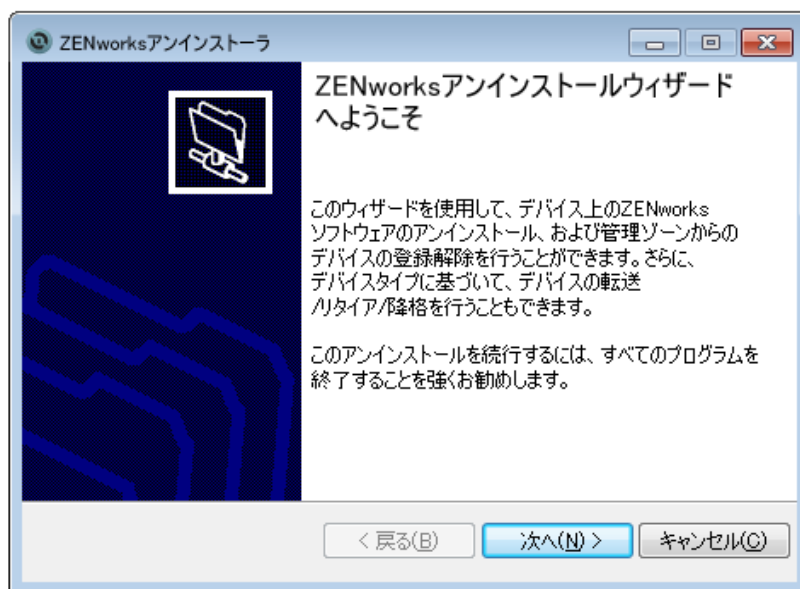
- デバイスに ZENworks Full Disk Encryption のポリシーが適用されている場合、ZENworks Adaptive Agent をアンインストールする前に、ディスク暗号化ポリシーの割り当てを削除します。これにより、ソフトウェアの削除前にデバイスのディスクが復号化されます。ディスクを正常に復号化するため、このベストプラクティスを推奨します。
- デバイスに ZENworks Endpoint Security Management のデータ暗号化ポリシーが適用されている場合、ファイルをセーフハーバーフォルダおよび暗号化リムーバブルストレージデバイスからコンピュータ上のセーフハーバー以外の (非暗号化) フォルダへ移動して、ユーザにファイルを復号化してもらいます。ユーザがファイルを復号化し終わったら、デバイスからデータ暗号化ポリシーの割り当てを削除し、ZENworks Adaptive Agent をアンインストールします。

Windows 管理対象デバイスから ZENworks をアンインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 コマンドプロンプトで次のコマンドを実行して、ZENworks アンインストールプログラムを起動します。

```
zenworks_installation_directory\novell\zenworks\bin\ZENworksUninstall.exe
```

アンインストールオプションのリストを表示するには、ZENworksUninstall.exe --help を実行します。



- 2 次へをクリックし、プロンプトに従って ZENworks ソフトウェアをアンインストールします。アンインストールオプションについて不明な点がある場合は、次の表の情報を参照してください。

画面	説明
管理者情報	<p>アンインストールプロセス中にデバイスを ZENworks 管理ゾーンから登録解除するため、次の情報を指定する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ プライマリサーバ: 通常、このフィールドにはデフォルトで、ZENworks Adaptive Agent のエージェントプロパティページに表示される ZENworks プライマリサーバが設定されています。このフィールドにデフォルトでプライマリサーバのアドレスが設定されていないか、間違ったアドレスが表示されている場合、次の形式でプライマリサーバのアドレスを指定します。 <code>https:// server_IP_address_or_DNS:port_number</code> ポート番号は、プライマリサーバがデフォルト (443) を使用していない場合にのみ指定する必要があります。 ◆ ユーザ名: デバイスを登録解除する権利を持つ ZENworks 管理者アカウントのユーザ名を指定します。デフォルトでは、Administrator アカウントが指定されています。 ◆ パスワード: ユーザ名フィールドで指定されている ZENworks 管理者のパスワードを指定します。 <p>ローカルアンインストールのみ (ゾーン内のデバイスを保持): このオプションは、デバイスから ZENworks ソフトウェアをアンインストールしたい場合にのみ選択します。デバイスは引き続き管理ゾーンに登録されています。</p> <p>ローカルアンインストールは、ユーザによるアンインストールがデバイスで許可されている場合にのみ実行できます。(ユーザに ZENworks Adaptive Agent のアンインストールを許可オプションが有効な場合)。</p> <p>Adaptive Agent のユーザによるアンインストールオプションは、ZENworks コントロールセンターで、ゾーンレベル (環境設定 > 管理ゾーンの設定 > デバイス管理 > ZENworks エージェント > エージェントセキュリティ)、フォルダレベル (デバイス > 管理対象 > フォルダ詳細 > 設定 > デバイス管理 > ZENworks エージェント > エージェントセキュリティ)、またはデバイスレベル (デバイス > デバイス > 設定 > デバイス管理 > ZENworks エージェント > エージェントセキュリティ) で設定されています。</p>
Actions (アクション)	<p>この画面は、ZENworks ソフトウェアのアンインストール時にデバイスを登録解除するために管理ゾーンにログインした場合にのみ表示されます。</p> <p>ZENworks エージェントをアンインストールしてデバイスをゾーンから登録解除するオプションを選択します。次へをクリックして操作を確認します。</p>

画面	説明
保持するコンポーネント	<p>次のコンポーネントのうち、アンインストールしないものを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ZENworks プレーエージェント : ZENworks プレーエージェントはデバイスにインストールしたままにしますが、その他の ZENworks コンポーネントはすべて削除します。デフォルトでは、このオプションは選択されません。 <p>ZENworks プレーエージェントをデバイスに残すと、ZENworks プレーエージェントはアダプタイズされた検出要求に応答し、デバイスに対して IP ベースの検出が実行された場合に ZENworks Ping 要求に応答できません。</p> <p>ZENworks をデバイスからアンインストールしてから ZENworks プレーエージェントをデバイスから削除するには、『ZENworks 11 SP4 Adaptive Agent Reference』の <i>Removing the ZENworks Pre-Agent from a Device</i> を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ CASA: Novell CASA (Common Authentication Services Adaptor) ソフトウェアをインストールしたまま残します。デフォルトでは、CASA はその他のソフトウェアプログラムで使用される可能性があるためにこのオプションが選択されています。 <p>重要 : デバイスに ZENworks プレーエージェントがインストールされている場合にその旧バージョンをインストールするには、最初に既存のバージョンの ZENworks プレーエージェントを、インストール済みバージョンの CASA と一緒にアンインストールする必要があります。</p>

- 3 ZENworks Adaptive Agent のアンインストールでパスワードが必要な場合、プロンプトが表示されたらパスワードを入力します。

プロンプトが表示されてから 5 分以内にパスワードを入力する必要があります。入力しないと、処理がタイムアウトになり、アンインストールのやり直しが必要になります。
- 4 アンインストールが完了すると、[アンインストールのステータス] ダイアログボックスが表示されます。ステータスに関するコメントをよく読み、今すぐ再起動オプションが選択されていることを確認して、**完了**をクリックします。

必要に応じて、今すぐ再起動オプションを選択解除し、後でデバイスを再起動して、削除できなかったファイルとフォルダのアンインストールを完了できます。
- 5 デバイスが再起動したら、次のタスクを実行して、ZENworks が完全に削除されたことを確認します。
 - ◆ **ZENworks ログファイル** : ログファイルはレビュー用に故意に残されています。いつでも手動で `ZENworks_installation_path\Novell\ZENworks` ディレクトリを削除できます。
 - ◆ **CASA**: アンインストール時に CASA を保持したものの、後で削除したくなった場合は、Windows の [プログラムの追加と削除] から削除できます。CASA のアンインストールを選択した後も `c:\program files\novell\casa` ディレクトリが存在する場合は、手動で削除できます。

2.3 Windows サテライトサーバからの ZENworks のアンインストール

サテライトサーバとして機能している管理対象デバイスから ZENworks をアンインストールするには、サテライトサーバを降格してから ZENworks Adaptive Agent をアンインストールする必要があります。次の 2 つセクションでそれらの手順について説明します。

- 18 ページのセクション 2.3.1 「サテライトサーバの降格」
- 20 ページのセクション 2.3.2 「ZENworks Adaptive Agent のアンインストール」

2.3.1 サテライトサーバの降格

サテライトサーバの降格に使用できる方法には、次の 2 つがあります。

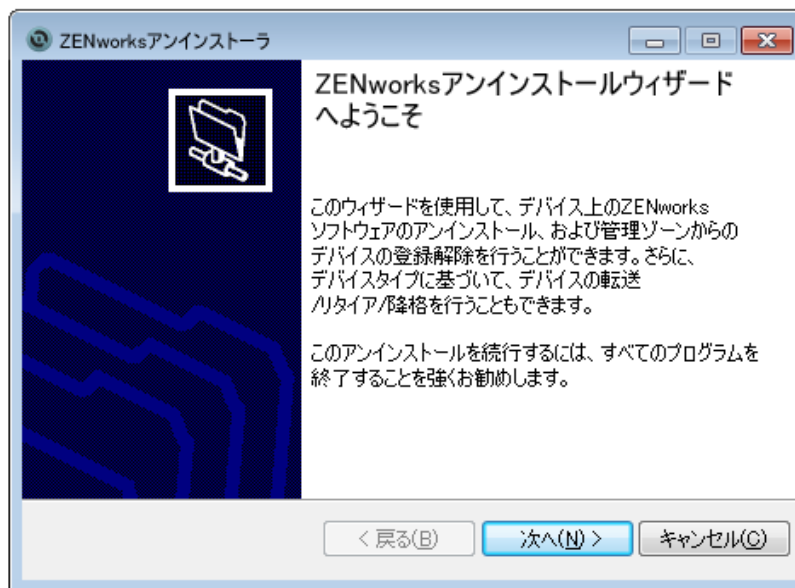
最初の方法では、ZENworks コントロールセンターを使用します。この方法を使用する場合の手順は、『ZENworks 11 SP4 プライマリサーバおよびサテライトリファレンス』の「[Removing Satellites from the Server Hierarchy](#)」で説明されています。

2 つ目の方法では、サテライトサーバで ZENworks アンインストールプログラムを実行します。手順は次のとおりです。

- 1 コマンドプロンプトで次のコマンドを実行して、ZENworks アンインストールプログラムを起動します。

```
zenworks_installation_directory\novell\zenworks\bin\ZENworksUninstall.exe
```


アンインストールオプションのリストを表示するには、ZENworksUninstall.exe --help を実行します。



- 2 次へをクリックし、プロンプトに従って ZENworks ソフトウェアをアンインストールします。アンインストールオプションについて不明な点がある場合は、次の表の情報を参照してください。

画面	説明
管理者情報	<p>サテライトサーバを降格するには、ZENworks 管理ゾーンへの接続に必要な次の情報を入力する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ プライマリサーバ: 通常、このフィールドにはデフォルトで、ZENworks Adaptive Agent のエージェントプロパティページに表示される ZENworks プライマリサーバが設定されています。このフィールドにデフォルトでプライマリサーバのアドレスが設定されていないか、間違ったアドレスが表示されている場合、次の形式でプライマリサーバのアドレスを指定します。 <code>https:// server_IP_address_or_DNS:port_number</code> ポート番号は、プライマリサーバがデフォルト (443) を使用していない場合にのみ指定する必要があります。 ◆ ユーザ名: デバイスを登録解除する権利を持つ ZENworks 管理者アカウントのユーザ名を指定します。デフォルトでは、Administrator アカウントが指定されています。 ◆ パスワード: ユーザ名フィールドで指定されている ZENworks 管理者のパスワードを指定します。 <p>ローカルアンインストールのみ (ゾーン内のデバイスを保持): このオプションは、デバイスから ZENworks ソフトウェアをアンインストールしたい場合にのみ選択します。デバイスは引き続き管理ゾーンに登録されていて、サテライトサーバとして表示されます。</p> <p>ローカルアンインストールは、ユーザによるアンインストールがデバイスで許可されている場合にのみ実行できます。(ユーザに ZENworks Adaptive Agent のアンインストールを許可オプションが有効な場合)。</p> <p>Adaptive Agent のユーザによるアンインストールオプションは、ZENworks コントロールセンターで、ゾーンレベル (環境設定 > 管理ゾーンの設定 > デバイス管理 > ZENworks エージェント > エージェントセキュリティ)、フォルダレベル (デバイス > 管理対象 > フォルダ詳細 > 設定 > デバイス管理 > ZENworks エージェント > エージェントセキュリティ)、またはデバイスレベル (デバイス > デバイス > 設定 > デバイス管理 > ZENworks エージェント > エージェントセキュリティ) で設定されています。</p> <p>Actions (アクション) この画面は、サテライトサーバを降格するために管理ゾーンにログインした場合にのみ表示されます。</p> <p>利用可能なオプションは <i>Demote the Satellite server (サテライトサーバの降格)</i> のみです。次へをクリックして操作を確認します。</p>

画面	説明
保持するコンポーネント	<p>次のコンポーネントのうち、アンインストールしないものを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ZENworks プレーエージェント: ZENworks プレーエージェントはデバイスにインストールしたままにしますが、その他の ZENworks コンポーネントはすべて削除します。デフォルトでは、このオプションは選択されません。 <p>ZENworks プレーエージェントをデバイスに残すと、ZENworks プレーエージェントはアドバタイズされた検出要求にตอบสนองし、デバイスに対して IP ベースの検出が実行された場合に ZENworks Ping 要求にตอบสนองできます。</p> <p>ZENworks をデバイスからアンインストールしてから ZENworks プレーエージェントをデバイスから削除するには、『「ZENworks 11 SP4 Adaptive Agent Reference」』の Removing the ZENworks Pre-Agent from a Device を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ CASA: Novell CASA (Common Authentication Services Adaptor) ソフトウェアをインストールしたまま残します。デフォルトでは、CASA はその他のソフトウェアプログラムで使用される可能性があるためにこのオプションが選択されています。 ◆ ZENworks Imaging ファイル: このオプションは、Imaging サテライトサーバに対してのみ表示されます。イメージファイル (novell\zenworks\work\content-repo\images ディレクトリにある) をサーバに残します。このオプションはデフォルトで選択されています。 ◆ ZENworks コンテンツファイル: このオプションは、コンテンツサテライトサーバに対してのみ表示されます。アプリケーションファイル、パッチファイル、システム更新ファイルなどのコンテンツファイル (novell\zenworks\work\content-repo\content ディレクトリにある) をサーバに残します。このオプションはデフォルトで選択されています。

- 3 アンインストールが完了すると、[アンインストールのステータス] ダイアログボックスが表示されます。ステータスに関するコメントをよく読み、**完了**をクリックします。
- 4 管理対象デバイスがサテライトサーバでなくなったことを確認するため、通知領域の  アイコンをダブルクリックします。左側のナビゲーションペインで、サテライトリンクが利用できなくなるはずですが。

2.3.2 ZENworks Adaptive Agent のアンインストール

管理対象デバイスから ZENworks Adaptive Agent をアンインストールする場合、次の点に注意してください。

- ◆ アンインストールパスワードが必要な場合 (ZENworks Adaptive Agent のアンインストールパスワードが必要でずオプションが有効な場合)、そのパスワードを知っていて、それをアンインストールプロセス中に入力する必要があります。

Adaptive Agent のアンインストールパスワードは、ZENworks コントロールセンターで、ゾーンレベル ([環境設定](#) > [管理ゾーンの設定](#) > [デバイス管理](#) > [ZENworks エージェント](#) > [エージェントセキュリティ](#))、フォルダレベル ([デバイス](#) > [管理対象](#) > [フォルダ詳細](#) > [設定](#) > [デバイス](#))

管理>ZENworks エージェント> エージェントセキュリティ)、またはデバイスレベル(デバイス> デバイス> 設定> デバイス管理>ZENworks エージェント> エージェントセキュリティ) で設定されています。

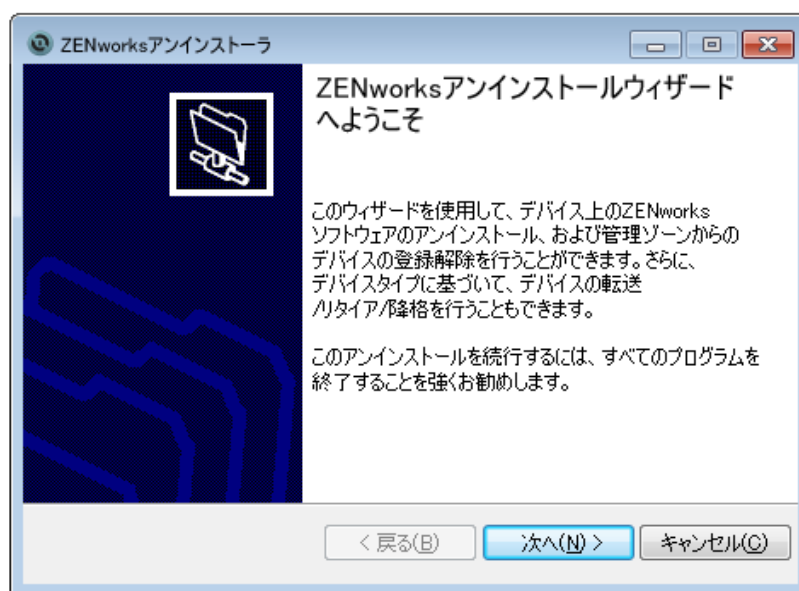
- ◆ デバイスに ZENworks Full Disk Encryption のポリシーが適用されている場合、ZENworks Adaptive Agent をアンインストールする前に、ディスク暗号化ポリシーの割り当てを削除します。これにより、ソフトウェアの削除前にデバイスのディスクが復号化されます。ディスクを正常に復号化するため、このベストプラクティスを推奨します。
- ◆ デバイスに ZENworks Endpoint Security Management のデータ暗号化ポリシーが適用されている場合、ファイルをセーフハーバーフォルダおよび暗号化リムーバブルストレージデバイスからコンピュータ上のセーフハーバー以外の(非暗号化)フォルダへ移動して、ユーザにファイルを復号化してもらいます。ユーザがファイルを復号化し終わったら、デバイスからデータ暗号化ポリシーの割り当てを削除し、ZENworks Adaptive Agent をアンインストールします。

Windows 管理対象デバイスから ZENworks をアンインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 コマンドプロンプトで次のコマンドを実行して、ZENworks アンインストールプログラムを起動します。

```
zenworks_installation_directory\novell\zenworks\bin\ZENworksUninstall.exe
```

アンインストールオプションのリストを表示するには、ZENworksUninstall.exe --help を実行します。



- 2 次へをクリックし、プロンプトに従って ZENworks ソフトウェアをアンインストールします。アンインストールオプションについて不明な点がある場合は、次の表の情報を参照してください。

画面	説明
管理者情報	<p>アンインストールプロセス中にデバイスを ZENworks 管理ゾーンから登録解除するため、次の情報を指定する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ プライマリサーバ: 通常、このフィールドにはデフォルトで、ZENworks Adaptive Agent のエージェントプロパティページに表示される ZENworks プライマリサーバが設定されています。このフィールドにデフォルトでプライマリサーバのアドレスが設定されていないか、間違ったアドレスが表示されている場合、次の形式でプライマリサーバのアドレスを指定します。 <code>https:// server_IP_address_or_DNS:port_number</code> ポート番号は、プライマリサーバがデフォルト (443) を使用していない場合にのみ指定する必要があります。 ◆ ユーザ名: デバイスを登録解除する権利を持つ ZENworks 管理者アカウントのユーザ名を指定します。デフォルトでは、Administrator アカウントが指定されています。 ◆ パスワード: ユーザ名フィールドで指定されている ZENworks 管理者のパスワードを指定します。 <p>ローカルアンインストールのみ (ゾーン内のデバイスを保持): このオプションは、デバイスから ZENworks ソフトウェアをアンインストールしたい場合にのみ選択します。デバイスは引き続き管理ゾーンに登録されています。</p> <p>ローカルアンインストールは、ユーザによるアンインストールがデバイスで許可されている場合にのみ実行できます。(ユーザに ZENworks Adaptive Agent のアンインストールを許可オプションが有効な場合)。</p> <p>Adaptive Agent のユーザによるアンインストールオプションは、ZENworks コントロールセンターで、ゾーンレベル (環境設定 > 管理ゾーンの設定 > デバイス管理 > ZENworks エージェント > エージェントセキュリティ)、フォルダレベル (デバイス > 管理対象 > フォルダ詳細 > 設定 > デバイス管理 > ZENworks エージェント > エージェントセキュリティ)、またはデバイスレベル (デバイス > デバイス > 設定 > デバイス管理 > ZENworks エージェント > エージェントセキュリティ) で設定されています。</p>
Actions (アクション)	<p>この画面は、ZENworks ソフトウェアのアンインストール時にデバイスを登録解除するために管理ゾーンにログインした場合にのみ表示されます。</p> <p>ZENworks エージェントをアンインストールしてデバイスをゾーンから登録解除するオプションを選択します。次へをクリックして操作を確認します。</p>

画面	説明
保持するコンポーネント	<p>次のコンポーネントのうち、アンインストールしないものを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ZENworks プレエージェント : ZENworks プレエージェントはデバイスにインストールしたままにしますが、その他の ZENworks コンポーネントはすべて削除します。デフォルトでは、このオプションは選択されません。 <p>ZENworks プレエージェントをデバイスに残すと、ZENworks プレエージェントはアダプタされた検出要求に応答し、デバイスに対して IP ベースの検出が実行された場合に ZENworks Ping 要求に応答できません。</p> <p>ZENworks をデバイスからアンインストールしてから ZENworks プレエージェントをデバイスから削除するには、『ZENworks 11 SP4 Adaptive Agent Reference』の <i>Removing the ZENworks Pre-Agent from a Device</i> を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ CASA: Novell CASA (Common Authentication Services Adaptor) ソフトウェアをインストールしたまま残します。デフォルトでは、CASA はその他のソフトウェアプログラムで使用される可能性があるためにこのオプションが選択されています。 <p>重要 : デバイスに ZENworks プレエージェントがインストールされている場合にその旧バージョンをインストールするには、最初に既存のバージョンの ZENworks プレエージェントを、インストール済みバージョンの CASA と一緒にアンインストールする必要があります。</p>

- 3 ZENworks Adaptive Agent のアンインストールでパスワードが必要な場合、プロンプトが表示されたらパスワードを入力します。

プロンプトが表示されてから 5 分以内にパスワードを入力する必要があります。入力しないと、処理がタイムアウトになり、アンインストールのやり直しが必要になります。
- 4 アンインストールが完了すると、[アンインストールのステータス] ダイアログボックスが表示されます。ステータスに関するコメントをよく読み、今すぐ再起動オプションが選択されていることを確認して、**完了**をクリックします。

必要に応じて、今すぐ再起動オプションを選択解除し、後でデバイスを再起動して、削除できなかったファイルとフォルダのアンインストールを完了できます。
- 5 デバイスが再起動したら、次のタスクを実行して、ZENworks が完全に削除されたことを確認します。
 - ◆ **ZENworks ログファイル** : ログファイルはレビュー用に故意に残されています。いつでも手動で `ZENworks_installation_path\Novell\ZENworks` ディレクトリを削除できます。
 - ◆ **CASA**: アンインストール時に CASA を保持したものの、後で削除したくなった場合は、Windows の [プログラムの追加と削除] から削除できます。CASA のアンインストールを選択した後も `c:\program files\novell\casa` ディレクトリが存在する場合は、手動で削除できます。

3 Linux デバイスからの ZENworks ソフトウェアのアンインストール

次の各セクションでは、Linux デバイスから ZENworks ソフトウェアをアンインストールする方法について説明します。ご使用の環境から ZENworks を完全に削除する場合、デバイスからの ZENworks ソフトウェアのアンインストールを開始する前に、必ず 7 ページの第 1 章「ZENworks の正しいアンインストール順序」を確認してください。

- 25 ページのセクション 3.1 「Linux プライマリサーバからの ZENworks のアンインストール」
- 27 ページのセクション 3.2 「Linux 管理対象デバイスからの ZENworks のアンインストール」
- 29 ページのセクション 3.3 「Linux サテライトサーバからの ZENworks のアンインストール」

3.1 Linux プライマリサーバからの ZENworks のアンインストール

ZENworks プライマリサーバをアンインストールする場合、次の点に注意してください。

- システムにインストールされている最初の ZENworks プライマリサーバは、他のすべてのプライマリサーバの後にのみ削除してください。組み込み ZENworks データベースを使用している場合、データベースは最初のプライマリサーバ上にあり、サーバのアンインストール時に削除されます。外部データベースを使用している場合、最初のプライマリサーバには管理ゾーンのサーバ証明書が格納されています。そのサーバを削除すると、他のすべてのプライマリサーバと ZENworks データベースとの接続が切断されます。

Linux プライマリサーバから ZENworks をアンインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 サーバコンソールプロンプトで次のコマンドを入力して、ZENworks アンインストールプログラムを起動します。

```
/opt/novell/zenworks/bin/zenuninstall -x -s http://server_address:port_number -u username -p password
```

次に例を示します。

```
/opt/novell/zenworks/bin/zenuninstall -x -s http://zensever.novell.com:8080 -u Administrator -p novell
```

- x ZENworks ソフトウェアをサーバからアンインストールして、ゾーンからデバイスを登録解除します。ソフトウェアを登録解除しない場合は、代わりに -c オプションを使用します。
- s プライマリサーバの IP アドレスまたは DNS、およびサーバが実行されているポート番号を指定します。プライマリサーバがデフォルトポート (80) で実行されている場合、このオプションを使用する必要はありません。
- u 管理ゾーン内のデバイスを登録解除する権利を持つ ZENworks 管理者のユーザ名を指定します。このオプションを使用しない場合、ユーザ名の入力を求めるプロンプトが表示されます。
- p ZENworks 管理者のパスワードを指定します。

アンインストール時に他のオプションを使用することもできます。オプションを使用する場合、次の構文が適用されます。

```
/opt/novell/zenworks/bin/zenuninstall <remove_options> [zone_options] [display_options] [other_options]
```

表 3-1 削除オプション

オプション	説明
-x --削除	ZENworks ソフトウェアをサーバからアンインストールして、ゾーンからデバイスを登録解除します。このオプションまたは -c オプションを必ず使用する必要があります。
-c --local-only	ZENworks ソフトウェアをデバイスからアンインストールしますが、ゾーンからデバイスを登録解除しません。このオプションまたは -x オプションのいずれかが必要です。 ZENworks プライマリサーバには、ZENworks サーバソフトウェアと ZENworks Adaptive Agent ソフトウェアの両方がインストールされています。Adaptive Agent ソフトウェアのローカルアンインストールを実行するには、ZENworks コントロールセンターでサーバに対してユーザに ZENworks Adaptive Agent のアンインストールを許可オプションを有効にする必要があります。有効にしない場合、ローカルアンインストールに失敗します。 このオプションは、ゾーンレベル (環境設定 > 管理ゾーンの設定 > デバイス管理 > ZENworks エージェント > エージェントセキュリティ)、フォルダレベル (デバイス > 管理対象 > フォルダ詳細 > 設定 > デバイス管理 > ZENworks エージェント > エージェントセキュリティ)、またはデバイスレベル (デバイス > デバイス > 設定 > デバイス管理 > ZENworks エージェント > エージェントセキュリティ) で設定されています。
-o --oem	ZENworks プレエージェントを保持しますが、ZENworks Adaptive Agent パッケージをアンインストールします。
-i --delete-images	ZENworks イメージファイルをサーバから削除します。イメージファイルは、/var/opt/novell/zenworks/content-repo/images ディレクトリに保存されています。
-j --delete-content	ZENworks コンテンツファイル (アプリケーションファイル、パッチファイル、システム更新ファイル、ポリシーファイルなど) をサーバから削除します。コンテンツファイルは、/var/opt/novell/zenworks/content-repo/content ディレクトリに保存されています。

表 3-2 ゾーンオプション

オプション	説明
-u <username> --user <username>	管理ゾーン内のデバイスを登録解除する権利を持つ ZENworks 管理者のユーザ名を指定します。これは、-x 削除オプションを使用する場合のみ必要です。
-p <password> --password <password>	-u オプションで指定した ZENworks 管理者のパスワードを指定します。

オプション	説明
-z <zonename>	デバイスの現在のゾーンの名前。
--zone <zonename>	
-g <guid>	デバイスの GUID。
--guid <guid>	
-l <packages>	アンインストールするパッケージの順序指定リスト。このリストはセミコロン区切りです。
--list <packages>	

表 3-3 表示オプション

オプション	説明
-q	サイレントインストールを実行します。
--quiet	
-h	メッセージを表示し、ヘルプを終了します。
--help	

表 3-4 その他のオプション

オプション	説明
-L	サードパーティ製パッケージを保持します。少なくとも、保持するパッケージの最初の 3 文字を指定する必要があります。複数のパッケージ名をそれぞれカンマ (,) で区切って指定することもできます。
--leave-packages	
-d	ログディレクトリを削除します。
--remove-log-dir	

3.2 Linux 管理対象デバイスからの ZENworks のアンインストール

- 1 コンソールプロンプトで次のコマンドを入力して、アンインストールプログラムを起動します。

```
/opt/novell/zenworks/bin/novell-zenworks-xplat-uninstall
```

```
端末
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 端末(T) ヘルプ(H)
Linux-62k7:~ # /opt/novell/zenworks/bin/novell-zenworks-xplat-uninstall
Preparing to install...
Extracting the installation resources from the installer archive...
Configuring the installer for this system's environment...

Launching installer...

Listening for transport dt_socket at address: 5005
Preparing CONSOLE Mode Installation...

=====
ロケールの選択...
-----

    1- English
    ->2- 日本語

番号別ロケールの選択: █
```

- 2 ロケール番号を入力して、アンインストールプログラムを実行したいロケール（言語）を選択するか、<Enter> を押してデフォルトのロケール（英語）をそのまま使用します。

ヒント：どのプロンプトでも、デフォルト値をそのまま使用する場合は <Enter> を押します。

- 3 概要テキストを読み、<Enter> を押します。
- 4 [アンインストールのタイプ] 画面で、実行するアンインストールのタイプを選択して、<Enter> を押します。
 - ◆ **ゾーンからの登録解除とアンインストール：**ZENworks ソフトウェアをアンインストールして ZENworks 管理ゾーンからデバイスを登録解除する場合、このオプションを選択します。デバイスを登録解除すると、デバイスオブジェクト、およびゾーン内にあるそのオブジェクトへの参照はすべて削除されます。

- ◆ **ローカルアンインストールのみ：**ZENworks ソフトウェアはアンインストールするものの、デバイスはゾーンに登録したままにする場合、このオプションを選択します。

Adaptive Agent ソフトウェアのローカルアンインストールを実行するには、ZENworks コントロールセンターでデバイスに対してユーザに ZENworks Adaptive Agent のアンインストールを許可オプションを有効にする必要があります。有効にしない場合、ローカルアンインストールに失敗します。

このオプションは、ゾーンレベル（環境設定 > 管理ゾーンの設定 > デバイス管理 > ZENworks エージェント > エージェントセキュリティ）、フォルダレベル（デバイス > 管理対象 > フォルダ詳細 > 設定 > デバイス管理 > ZENworks エージェント > エージェントセキュリティ）、またはデバイスレベル（デバイス > デバイス > 設定 > デバイス管理 > ZENworks エージェント > エージェントセキュリティ）で設定されています。

- 5 ローカルアンインストールのみを選択した場合は、[ステップ 6](#)までスキップします。選択していない場合は、ZENworks ソフトウェアのアンインストール後にZENworks 管理ゾーンに接続してデバイスを登録解除するのに必要な情報を入力する必要があります。
 - 5a ZENworks プライマリサーバの IP アドレスまたは DNS を指定して、<Enter> を押します。
ポート番号は、プライマリサーバがデフォルト (443) を使用していない場合にのみ指定する必要があります。
 - 5b プライマリサーバのポート番号を指定して、<Enter> を押します。デフォルトポート (443) を使用する場合は、単に <Enter> を押します。
 - 5c デバイスを登録解除する権利を持つ ZENworks 管理者アカウントのユーザ名を指定して、<Enter> を押します。Administrator アカウントを使用する場合は、単に <Enter> を押します。
 - 5d ZENworks 管理者アカウントのパスワードを指定して、<Enter> を押します。
 - 6 [概要] 画面で詳細を確認し、<Enter> を押してアンインストールプロセスを開始するか、「Back」と入力して前の画面でアンインストールオプションを変更します。
 - 7 アンインストールが完了したら、<Enter> を押してアンインストールプログラムを終了します。
アンインストールが正常に完了すると、次の状態になります。
 - ◆ ZENworks Adaptive Agent ソフトウェアがアンインストールされる。
 - ◆ すべての ZENworks 関連 RPM がデバイスから削除される。
 - ◆ ゾーンからの登録解除とアンインストールオプションを使用した場合、ZENworks 管理ゾーンからデバイスオブジェクトが削除される。これは ZENworks コントロールセンターで確認できます ([デバイスタブ](#) > [管理対象タブ](#) > [サーバフォルダ](#))。
- アンインストールに失敗した場合は、次のログファイルを参照してください。
- ◆ /var/opt/novell/log/zenworks/ZENworks_XPlat_Agent_Uninstall_<date>.log.xml
 - ◆ /tmp/err.log

3.3 Linux サテライトサーバからの ZENworks のアンインストール

サテライトサーバとして機能している管理対象デバイスから ZENworks をアンインストールするには、サテライトサーバを降格してから ZENworks Adaptive Agent をアンインストールする必要があります。次の 2 つセクションでそれらの手順について説明します。

- ◆ [29 ページのセクション 3.3.1 「サテライトサーバの降格」](#)
- ◆ [31 ページのセクション 3.3.2 「ZENworks Adaptive Agent のアンインストール」](#)

3.3.1 サテライトサーバの降格

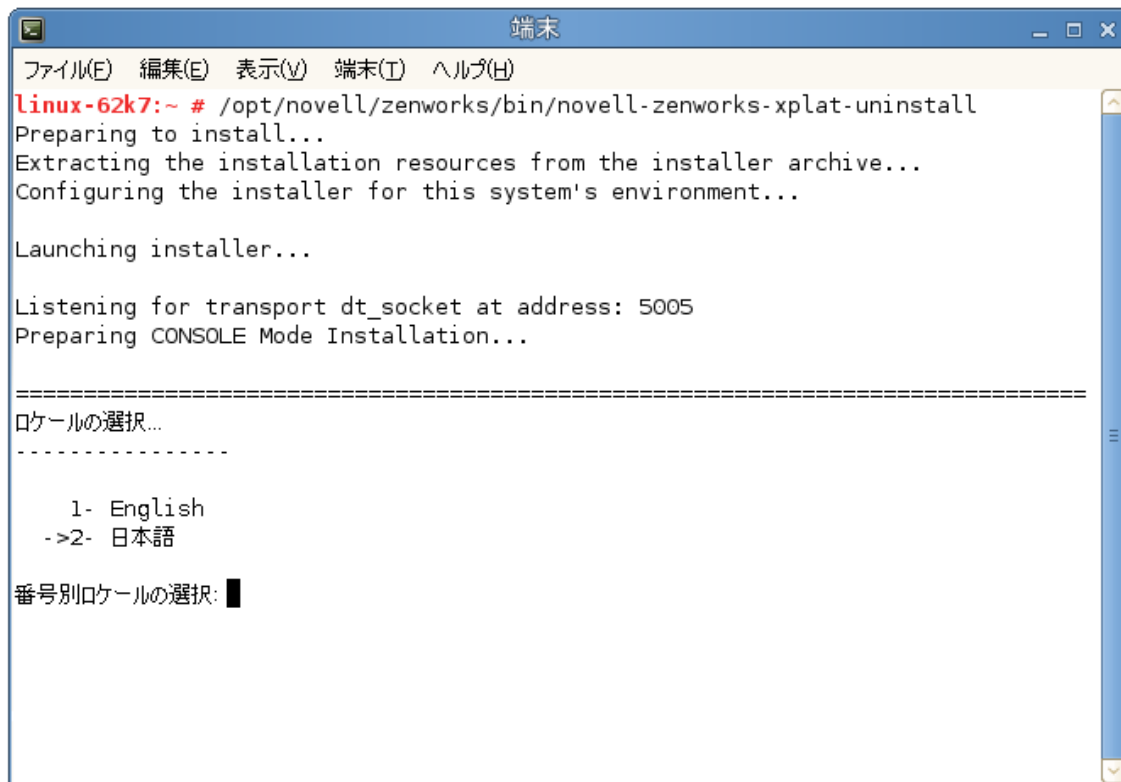
サテライトサーバの降格に使用できる方法には、次の 2 つがあります。

最初の方法では、ZENworks コントロールセンターを使用します。この方法を使用する場合の手順は、『[ZENworks 11 SP4 プライマリサーバおよびサテライトリファレンス](#)』の「[Removing Satellites from the Server Hierarchy](#)」で説明されています。

2つ目の方法では、サテライトサーバでZENworks アンインストールプログラムを実行します。手順は次のとおりです。

- 1 コンソールプロンプトで次のコマンドを入力して、アンインストールプログラムを起動します。

```
/opt/novell/zenworks/bin/novell-zenworks-xplat-uninstall
```



```
Linux-62k7:~ # /opt/novell/zenworks/bin/novell-zenworks-xplat-uninstall
Preparing to install...
Extracting the installation resources from the installer archive...
Configuring the installer for this system's environment...

Launching installer...

Listening for transport dt_socket at address: 5005
Preparing CONSOLE Mode Installation...

=====
ロケールの選択...
-----


    1- English
    ->2- 日本語

番号別ロケールの選択: █
```

- 2 ロケール番号を入力して、アンインストールプログラムを実行したいロケール（言語）を選択するか、<Enter> を押してデフォルトのロケール（英語）をそのまま使用します。

ヒント：どのプロンプトでも、デフォルト値をそのまま使用する場合は <Enter> を押します。

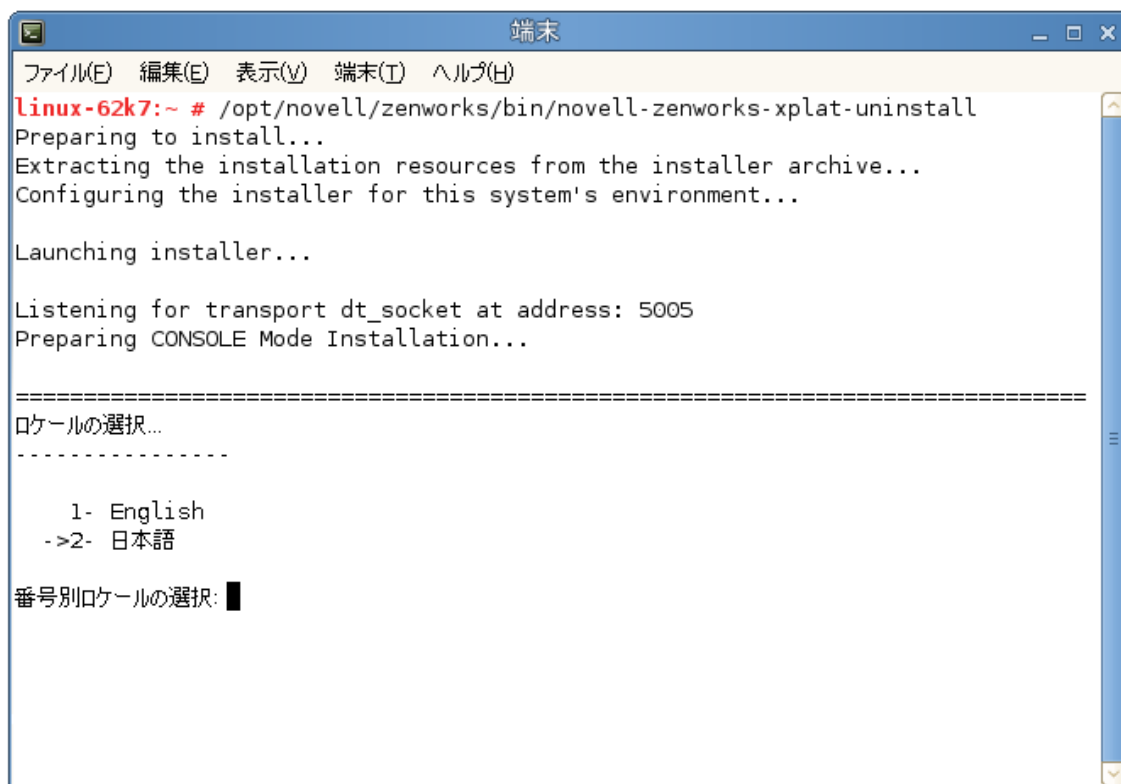
- 3 概要テキストを読み、<Enter> を押します。
- 4 [アンインストールのタイプ] 画面で、<Enter> を押してデフォルトのオプション（サテライトサーバの降格）を受け入れます。
- 5 [ZENworks 管理ゾーンの情報] 画面で、ZENworks 管理ゾーンに接続してサテライトサーバを標準の管理対象デバイスに降格するのに必要な情報を入力します。
 - 5a ZENworks プライマリサーバの IP アドレスまたは DNS を指定して、<Enter> を押します。
ポート番号は、プライマリサーバがデフォルト (443) を使用していない場合にのみ指定する必要があります。
 - 5b プライマリサーバのポート番号を指定して、<Enter> を押します。デフォルトポート (443) を使用する場合は、単に <Enter> を押します。

- 5c デバイスを登録解除する権利を持つ ZENworks 管理者アカウントのユーザ名を指定して、<Enter> を押します。Administrator アカウントを使用する場合は、単に <Enter> を押しします。
- 5d ZENworks 管理者アカウントのパスワードを指定して、<Enter> を押します。
- 6 [概要] 画面で詳細を確認し、<Enter> を押してアンインストールプロセスを開始します。
- 7 サテライトサーバの降格が完了したら、<Enter> を押してアンインストールプログラムを終了します。
- 8 管理対象デバイスがサテライトサーバでなくなったことを確認するため、通知領域の  アイコンをダブルクリックします。左側のナビゲーションペインで、サテライトリンクが利用できなくなるはずですが。

3.3.2 ZENworks Adaptive Agent のアンインストール

- 1 コンソールプロンプトで次のコマンドを入力して、アンインストールプログラムを起動します。

```
/opt/novell/zenworks/bin/novell-zenworks-xplat-uninstall
```



```
Linux-62k7:~ # /opt/novell/zenworks/bin/novell-zenworks-xplat-uninstall
Preparing to install...
Extracting the installation resources from the installer archive...
Configuring the installer for this system's environment...

Launching installer...

Listening for transport dt_socket at address: 5005
Preparing CONSOLE Mode Installation...

=====
ロケールの選択...
-----

  1- English
  ->2- 日本語

番号別ロケールの選択: █
```

- 2 ロケール番号を入力して、アンインストールプログラムを実行したいロケール (言語) を選択するか、<Enter> を押してデフォルトのロケール (英語) をそのまま使用します。

ヒント: どのプロンプトでも、デフォルト値をそのまま使用する場合は <Enter> を押します。

- 3 概要テキストを読み、<Enter> を押します。

4 [アンインストールのタイプ] 画面で、実行するアンインストールのタイプを選択して、<Enter> を押します。

- ◆ **ゾーンからの登録解除とアンインストール**：ZENworks ソフトウェアをアンインストールして ZENworks 管理ゾーンからデバイスを登録解除する場合、このオプションを選択します。デバイスを登録解除すると、デバイスオブジェクト、およびゾーン内にあるそのオブジェクトへの参照はすべて削除されます。
- ◆ **ローカルアンインストールのみ**：ZENworks ソフトウェアはアンインストールするものの、デバイスはゾーンに登録したままにする場合、このオプションを選択します。

Adaptive Agent ソフトウェアのローカルアンインストールを実行するには、ZENworks コントロールセンターでデバイスに対してユーザに *ZENworks Adaptive Agent* のアンインストールを許可オプションを有効にする必要があります。有効にしない場合、ローカルアンインストールに失敗します。

このオプションは、ゾーンレベル (*環境設定* > *管理ゾーンの設定* > *デバイス管理* > *ZENworks エージェント* > *エージェントセキュリティ*)、フォルダレベル (*デバイス* > *管理対象* > *フォルダ詳細* > *設定* > *デバイス管理* > *ZENworks エージェント* > *エージェントセキュリティ*)、またはデバイスレベル (*デバイス* > *デバイス* > *設定* > *デバイス管理* > *ZENworks エージェント* > *エージェントセキュリティ*) で設定されています。

5 ローカルアンインストールのみを選択した場合は、**ステップ 6** までスキップします。選択していない場合は、ZENworks ソフトウェアのアンインストール後に ZENworks 管理ゾーンに接続してデバイスを登録解除するのに必要な情報を入力する必要があります。

5a ZENworks プライマリサーバの IP アドレスまたは DNS を指定して、<Enter> を押します。

ポート番号は、プライマリサーバがデフォルト (443) を使用していない場合にのみ指定する必要があります。

5b プライマリサーバのポート番号を指定して、<Enter> を押します。デフォルトポート (443) を使用する場合は、単に <Enter> を押します。

5c デバイスを登録解除する権利を持つ ZENworks 管理者アカウントのユーザ名を指定して、<Enter> を押します。Administrator アカウントを使用する場合は、単に <Enter> を押します。

5d ZENworks 管理者アカウントのパスワードを指定して、<Enter> を押します。

6 [概要] 画面で詳細を確認し、<Enter> を押してアンインストールプロセスを開始するか、「Back」と入力して前の画面でアンインストールオプションを変更します。

7 アンインストールが完了したら、<Enter> を押してアンインストールプログラムを終了します。

アンインストールが正常に完了すると、次の状態になります。

- ◆ ZENworks Adaptive Agent ソフトウェアがアンインストールされる。
- ◆ すべての ZENworks 関連 RPM がデバイスから削除される。
- ◆ **ゾーンからの登録解除とアンインストールオプション**を使用した場合、ZENworks 管理ゾーンからデバイスオブジェクトが削除される。これは ZENworks コントロールセンターで確認できます (*デバイスタブ* > *管理対象タブ* > *サーバフォルダ*)。

アンインストールに失敗した場合は、次のログファイルを参照してください。

- ◆ /var/opt/novell/log/zenworks/ZENworks_XPlat_Agent_Uninstall_<date>.log.xml
- ◆ /tmp/err.log

4 Macintosh デバイスからの ZENworks ソフトウェアのアンインストール

次の各セクションでは、Macintosh デバイスから ZENworks ソフトウェアをアンインストールする方法について説明します。ご使用の環境から ZENworks を完全に削除する場合、デバイスからの ZENworks ソフトウェアのアンインストールを開始する前に、必ず 7 ページの第 1 章「ZENworks の正しいアンインストール順序」を確認してください。

- 33 ページのセクション 4.1「Macintosh 管理対象デバイスからの ZENworks のアンインストール」
- 34 ページのセクション 4.2「Macintosh サテライトサーバからの ZENworks のアンインストール」

4.1 Macintosh 管理対象デバイスからの ZENworks のアンインストール

- 1 コンソールプロンプトで次のコマンドを入力して、アンインストールプログラムを起動します。

```
/opt/novell/zenworks/bin/novell-zenworks-xplat-uninstall
```

- 2 実行するアンインストールのタイプを選択して、<Enter> を押します。

- **ゾーンからの登録解除とアンインストール**：ZENworks ソフトウェアをアンインストールして ZENworks 管理ゾーンからデバイスを登録解除する場合、このオプションを選択します。デバイスを登録解除すると、デバイスオブジェクト、およびゾーン内にあるそのオブジェクトへの参照はすべて削除されます。
- **ローカルアンインストールのみ**：ZENworks ソフトウェアはアンインストールするものの、デバイスはゾーンに登録したままにする場合、このオプションを選択します。

Adaptive Agent ソフトウェアのローカルアンインストールを実行するには、ZENworks コントロールセンターでデバイスに対してユーザに ZENworks Adaptive Agent のアンインストールを許可オプションを有効にする必要があります。有効にしない場合、ローカルアンインストールに失敗します。

このオプションは、ゾーンレベル (*環境設定 > 管理ゾーンの設定 > デバイス管理 > ZENworks エージェント > エージェントセキュリティ*)、フォルダレベル (*デバイス > 管理対象 > フォルダ詳細 > 設定 > デバイス管理 > ZENworks エージェント > エージェントセキュリティ*)、またはデバイスレベル (*デバイス > デバイス > 設定 > デバイス管理 > ZENworks エージェント > エージェントセキュリティ*) で設定されています。

- 3 ローカルアンインストールのみを選択した場合は、**ステップ 4** までスキップします。選択していない場合は、ZENworks ソフトウェアのアンインストール後に ZENworks 管理ゾーンに接続してデバイスを登録解除するのに必要な情報を入力する必要があります。
 - 3a デバイスを登録解除する権利を持つ ZENworks 管理者アカウントのユーザ名を指定して、<Enter> を押します。
 - 3b ZENworks 管理者アカウントのパスワードを指定して、<Enter> を押します。
- 4 アンインストールが完了したら、ターミナルウィンドウを閉じます。

アンインストールが正常に完了すると、次の状態になります。

- ZENworks Adaptive Agent ソフトウェアがアンインストールされる。
- すべての ZENworks 関連ソフトウェアがデバイスから削除される。
- ゾーンからの登録解除とアンインストールオプションを使用した場合、ZENworks 管理ゾーンからデバイスオブジェクトが削除される。これは ZENworks コントロールセンターで確認できます (デバイスタブ > 管理対象タブ > サーバフォルダ)。

アンインストールに失敗した場合は、次のログファイルを参照してください。

```
/var/opt/novell/zenworks/logs/ZENworks_XPlat_Agent_Uninstall_<date>.log.xml
```

4.2 Macintosh サテライトサーバからの ZENworks のアンインストール

サテライトサーバとして機能している管理対象デバイスから ZENworks をアンインストールするには、サテライトサーバを降格してから ZENworks Adaptive Agent をアンインストールする必要があります。次の 2 つセクションでそれらの手順について説明します。

- [34 ページのセクション 4.2.1 「サテライトサーバの降格」](#)
- [34 ページのセクション 4.2.2 「ZENworks Adaptive Agent のアンインストール」](#)

4.2.1 サテライトサーバの降格

ZENworks アンインストールプログラムには、Macintosh サテライトを降格するオプションは組み込まれていません。サテライトサーバを降格するには、ZENworks コントロールセンターを使用する必要があります。ZENworks コントロールセンターの使用方法は、『ZENworks 11 SP4 プライマリサーバおよびサテライトリファレンス』の「[Removing Satellites from the Server Hierarchy](#)」で説明されています。

4.2.2 ZENworks Adaptive Agent のアンインストール

- 1 コンソールプロンプトで次のコマンドを入力して、アンインストールプログラムを起動します。

```
/opt/novell/zenworks/bin/novell-zenworks-xplat-uninstall
```

- 2 実行するアンインストールのタイプを選択して、<Enter> を押します。

- **ゾーンからの登録解除とアンインストール**：ZENworks ソフトウェアをアンインストールして ZENworks 管理ゾーンからデバイスを登録解除する場合、このオプションを選択します。デバイスを登録解除すると、デバイスオブジェクト、およびゾーン内にあるそのオブジェクトへの参照はすべて削除されます。
- **ローカルアンインストールのみ**：ZENworks ソフトウェアはアンインストールするもの、デバイスはゾーンに登録したままにする場合、このオプションを選択します。

Adaptive Agent ソフトウェアのローカルアンインストールを実行するには、ZENworks コントロールセンターでデバイスに対してユーザにZENworks Adaptive Agent のアンインストールを許可オプションを有効にする必要があります。有効にしない場合、ローカルアンインストールに失敗します。

このオプションは、ゾーンレベル (環境設定 > 管理ゾーンの設定 > デバイス管理 > ZENworks エージェント > エージェントセキュリティ)、フォルダレベル (デバイス > 管理対象 > フォルダ詳細 > 設定 > デバイス管理 > ZENworks エージェント > エージェントセキュリティ)、またはデバイスレベル (デバイス > デバイス > 設定 > デバイス管理 > ZENworks エージェント > エージェントセキュリティ) で設定されています。

- 3 ローカルアンインストールのみを選択した場合は、ステップ 4 までスキップします。選択していない場合は、ZENworks ソフトウェアのアンインストール後にZENworks 管理ゾーンに接続してデバイスを登録解除するのに必要な情報を入力する必要があります。

3a デバイスを登録解除する権利を持つZENworks 管理者アカウントのユーザ名を指定して、<Enter> を押します。

3b ZENworks 管理者アカウントのパスワードを指定して、<Enter> を押します。

- 4 アンインストールが完了したら、ターミナルウィンドウを閉じます。

アンインストールが正常に完了すると、次の状態になります。

- ♦ ZENworks Adaptive Agent ソフトウェアがアンインストールされる。
- ♦ すべてのZENworks 関連ソフトウェアがデバイスから削除される。
- ♦ ゾーンからの登録解除とアンインストールオプションを使用した場合、ZENworks 管理ゾーンからデバイスオブジェクトが削除される。これはZENworks コントロールセンターで確認できます (デバイスタブ > 管理対象タブ > サーバフォルダ)。

アンインストールに失敗した場合は、次のログファイルを参照してください。

`/var/opt/novell/zenworks/logs/ZENworks_XPlat_Agent_Uninstall_<date>.log.xml`

